

***ニコンFモータードライブカメラ収蔵**

アーカイブ新聞第774号に書いた「Φ165、全天カメラ用平面鏡」が入っていた段ボール箱に、この平面鏡の他にフォトマル（光電子増倍管）2本、ニコンFモータードライブカメラ（レンズなし）、モータードライブコントローラらしきものが入っていた。今回は、そのニコンFモータードライブカメラ（写真1）について書き留めておきたい。



写真1 ニコンFモータードライブカメラ

このモータードライブは 35 mmフィルム 33 フィートマガジン用のものである。裏蓋を開けたところが写真2である。



写真2 裏蓋を開いたところ

筆者がこのモータードライブカメラを使ったのは、大型光学赤外線望遠鏡「すばる」の建設予定地のサイトテストの時の全天カメラと、「すばる」建設期の工事モニターに使った時である。このニコン F モータードライブカメラが測光部関係のものであることから、ハワイ・マウナケア山頂で活躍したものかもしれない。とすれば随分と懐かしいカメラである。サイト調査は1987年に行われ、「すばる」建設は1992年から開始された。

各部を外し、すべてを並べたのが写真3である。



写真3 カメラを外し、フィルムマガジンも出して撮影

写真4のボックスは、電池からの継電器だったと思う。サイトテストの全天カメラも「すばる」建設工事のモニターに使った際も鉛蓄電池を使い、この継電器を中継に使っていた。しかし、これだけ残っていてもイメージがわからない。



写真4 ニコンFモータードライブの電源系電気

これも、「すばる」建設の遺産の一つと言えるだろう。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp